

# RV320およびRV325 VPNルータシリーズでの仮想プライベートネットワーク(VPN)パススルーの設定

## 目的

VPNパススルーは、このルータに接続されたVPNクライアントから生成されたVPNトラフィックがルータを通過できるようにするための機能です。通常、すべてのルータは、同じインターネット接続を持つ複数のクライアントをサポートする場合にIPアドレスを節約するために、ネットワークアドレス変換(NAT)をサポートします。ただし、PPTPおよびIPSec VPNはNATをサポートしていません。VPNパススルーでは、PPTPおよびIPSec VPNは、VPNクライアントから開始されたインターネットへのパススルーのみが許可され、その後リモートVPNゲートウェイに到達します。この機能は、NATをサポートするホームルータで一般的に見られます。

このドキュメントの目的は、RV32x VPNルータシリーズでVPNパススルーを有効にする方法を説明することです。

## 該当するデバイス

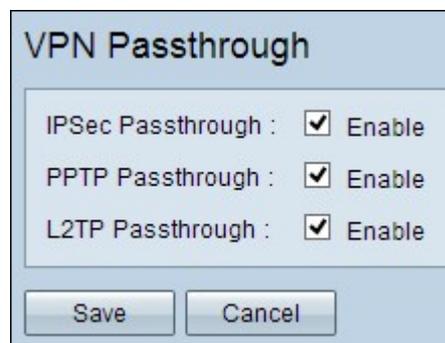
- ・ RV320デュアルWAN VPNルータ
- ・ RV325ギガビットデュアルWAN VPNルータ

## [Software Version]

- ・ v1.1.0.09

## VPNパススルーの設定

ステップ1: Web設定ユーティリティにログインし、[VPN] > [VPN Passthrough]を選択します。[VPN Passthrough]ページが開きます。



VPN Passthrough	
IPSec Passthrough :	<input checked="" type="checkbox"/> Enable
PPTP Passthrough :	<input checked="" type="checkbox"/> Enable
L2TP Passthrough :	<input checked="" type="checkbox"/> Enable
Save      Cancel	

ステップ2: ( オプション ) IPSecトンネルがルータを通過できるようにするには、[Enable IPSec PassThrough]チェックボックスをオンにします。このオプションは、ルータでIPSec VPNトンネルが使用されている場合、またはルータがIPSec VPNトンネルの2つのエンドポイントの間にある場合に有効にする必要があります。

ステップ3: ( オプション ) PPTPトンネルがルータを通過できるようにするには、[Enable

**PPTP PassThrough]チェックボックスをオンにします。このオプションは、ルータがPPTP VPNトンネルの2つのエンドポイント間にある場合に有効にする必要があります。**

ステップ4: ( オプション ) L2TPトンネルがルータを通過できるようにするには、**[L2TPパススルーを有効にする]チェックボックスをオンにします。このオプションは、ルータがL2TP VPNトンネルの2つのエンドポイント間にある場合に有効にする必要があります。**

ステップ5:**[Save]**をクリックし、VPNパススルー設定を保存します。